



開催プログラム

10:00～10:12

開会

- 開会の挨拶
脱炭素チャレンジカップ
実行委員長 小宮山 宏
- ファイナリスト紹介
- 審査委員紹介



会場のスクリーンに映るファイナリスト



小宮山宏実行委員長

10:12～13:20

ファイナリスト29団体による プレゼンテーション

発表時間 1団体4分

- 学生部門(8団体)
- ジュニア・キッズ部門(6団体)
- 企業・自治体部門(10団体)
- 市民部門(5団体)



真剣な表情の審査委員



約150人が見守った会場

13:50～14:20

ステージプログラム 基調講演

動画を
視聴できます



講演する高村教授

「脱炭素社会にむけて

—持続可能なよりよい地域をつくる—

高村教授は、台風や豪雨、熱波などの過去の大規模な自然災害を例に、そうした災害の要因は気候変動であることを解説しました。気温上昇で異常気象の頻度や強度が増す恐ろしさや、世界で目指す1.5℃目標、生物多様性の重要性などに言及。地球規模なマクロな視点から、持続可能な地域づくりの進め方というミクロの視点まで、高齢化などの社会課題と同時に問題を解決するチャンスであるとエールを送りました。



講演者 東京大学 未来ビジョン研究センター 教授
高村 ゆかり 氏

専門は国際法学・環境法学。京都大学法学部卒業。
名古屋大学大学院教授、東京大学サステイナビリティ学連携研究機構(IR3S)教授などを経て現職。

14:20～14:45

ステージプログラム アイデア賞受賞者からの講演

動画を
視聴できます



アイデア賞の立案者！ 江守正多審査委員長からコメント

アイデア賞は、本大会の主旨が2020年、省エネなどの取組から脱炭素の取組に移行したことを機に、実現できていないが構想はある、未来が明るくなるようなアイデアを表彰する賞です。

ステージプログラム アイデア賞受賞者からの講演

アイデア賞受賞

自分専用のスーパーを手に

食品ロスにより、余分な食材をつくるエネルギーが多くなり、炭素の排出量が多くなる。また、余分な食品を焼却廃棄する際にも炭素が発生する。私たちは脱炭素化にむけて食品ロスの削減、将来的にスーパーの市場が縮小することを見据え、未来の消費生活がよりよくなるよう、AI冷蔵庫とネットショッピングとの連携を考えた。



大妻中野高等学校 EcoEasy

審査委員長
コメント

食材の在庫を把握してくれるAI冷蔵庫と、スーパーの棚にある食材をマッチングしてレシピを提案してくれる発想は画期的だと思います。将来、実現したら面白いです。

アイデア賞受賞

脱炭素への道
(脱炭素社会のための道路のフル活用)

脱炭素社会の実現へ向けて道路のポテンシャルを最大限に引き出す。国交省の「2040年道路が変わる」を実施し、脱炭素型のライフスタイルを後押しする。1.ソーラー屋根の全天候型歩道で、歩いて暮らそう 2.充実のEV充電スポットを各市町に 3. EV充電がタダ!(または収益でメンテを) 4. グリウス風車も並べてソーラーとW発電 5. パネルの北に街路樹を/歩ける大型トンネル型緑地で安全に遊ぼう!



高畑政子さん

審査委員長
コメント

再生可能エネルギーが街中に溶け込むにはどうしたらよいか、という視点を評価しました。高畑さんは昨年に続き、2度目の受賞となり、殿堂入りです。

14:50~15:00

ステージプログラム 過去受賞団体からの講演

15:00~15:40

ステージプログラム パネルディスカッション

「脱炭素化は実現できるのか!? ~ユース世代のチャレンジ!~」

脱炭素な社会の構築に向けて、ユース世代を中心に、気候変動や温暖化への興味、何から行動できるかなどについて話し合いました。

出演者

ファシリテーター：高橋克英さん(アンバサダー・現役大学生)
パネリスト：アイデア賞受賞者、過去受賞者、高村ゆかり教授

動画を
視聴できます



活発に意見交換したパネリストの皆さん



逆川子どもエコクラブ 浅利圭吾さん(2021大会 文部科学大臣賞学校活動分野)

15:40～17:20

脱炭素チャレンジカップ 2023 表彰式・閉会式

- 主催者挨拶
脱炭素チャレンジカップ
副委員長 川北 秀人
- 審査結果発表
- 審査講評
審査・企業/団体賞選考委員会
審査委員長 江守 正多
- 閉会の挨拶
(一社)地球温暖化防止全国ネット 理事長 高田 研



出演者で記念写真

歓喜の声 受賞団体が決定!

ステージプログラムの裏で開催された「審査・企業／団体賞選考委員会(審査委員会)」において、脱炭素チャレンジカップ2023の受賞団体を決定しました。

表彰式では、環境大臣賞グランプリ(1団体)、金賞(各部門から1団体、計4団体)の受賞団体が発表され、環境省脱炭素ライフスタイル推進室の井上雄祐室長から受賞団体に賞状が授与されました。

続いて、文部科学大臣賞(社会活動分野、学生活動分野の計2団体)では、文部科学省総合教育政策局の安里賀奈子課長から受賞団体に賞状が授与されました。

企業／団体賞は、各賞提供のプレゼンターから受賞団体(14団体)へ、審査委員特別賞は江守正多審査委員長から受賞団体(1団体)へ、オーディエンス賞は日本マクドナルド㈱の牧陽子部長から受賞団体(2団体)へ賞状等が授与されました。



29のファイナリスト



司会のエコアンウンサー 櫻田彩子さん